

注3

大学番号：公025

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

長崎県立大学 国際社会学部 国際社会学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

長崎県公立大学法人  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画広報課企画広報グループ

職名・氏名 リーダー・田川<sup>タガワ</sup>麻彦<sup>アサヒコ</sup>

電話番号 0956-47-5856

（夜間） 0956-47-2191

F A X 0956-47-8047

e-mail kikaku@sun.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際社会学部

＜国際社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

長崎県公立大学法人

## (2) 大学名

長崎県立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒851-2195

長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1-1

(〒858-8580)

(長崎県佐世保市川下町123番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イナガ シブ) 稲永 忍 (平成28年4月)		
学長	(オタ ヒロミチ) 太田 博道 (平成23年4月)	(キム ツトム) 木村 務 (平成31年4月)	任期満了のため(元)
学部長	(ムカミ マサチ) 村上 雅通 (平成28年4月)	(モリタ ヒトシ) (森田 均) (平成31年4月)	任期満了のため(元)
学科長等	(ムカミ マサチ) 村上 雅通 (平成28年4月)	(モリタ ヒトシ) (森田 均) (平成31年4月)	任期満了のため(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際社会学部 国際社会学科  学士(国際社会学)	社会学・社会福祉学関係	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	60人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	60人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	60人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	60人 (—) [若干名]	—人 (—) [若干名]	1.08倍	倍	志願者数と受験者数については、第1志望者数、第2志望者数を合算している(29)
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	302 (—) [1]	— (—) [—]	212 (—) [2]	— (—) [—]	172 (—) [—]	— (—) [—]	257 (—) [1]	— (—) [—]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	174 (—) [1]	— (—) [—]	138 (—) [1]	— (—) [—]	113 (—) [—]	— (—) [—]	164 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	72 (—) [0]	— (—) [—]	75 (—) [0]	— (—) [—]	74 (—) [—]	— (—) [—]	79 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	65 (—) [0]	— (—) [—]	65 (—) [0]	— (—) [—]	64 (—) [—]	— (—) [—]	66 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A			1.08		1.08		1.06		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	65 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	65 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	64 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	66 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	65 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	73 [ - ] ( 9 )	— [ - ] ( - )	69 [ - ] ( 6 )	— [ - ] ( - )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	53 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	64 [ - ] ( 4 )	— [ - ] ( - )	
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )	53 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	
計			[ ] ( )	[ ] ( - )			65 [ - ] ( - )	130 [ - ] ( - )	190 [ - ] ( 9 )	252 [ - ] ( 10 )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	65 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	130 人	4 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	3 人	0 人	その他(2人) 他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成29年度	1 人	0 人	その他(1人)
平成30年度	190 人	2 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	1 人	0 人	その他(1人)
			平成29年度	1 人	0 人	除籍(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	252 人	2 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
合計		8 人		8 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{130} = \boxed{3.07} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{190} = \boxed{1.05} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{252} = \boxed{0.79} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科専門科目	基幹科目	国際事情	2・3後		2		1						兼2
		国際コミュニケーション論	2前	2				1					
		情報メディア文化論	2・3前		2			1					
		ネットワーク経済論	2・3後		2				1				
	グローバル社会の研究	国際機構論	2後	2				1					
		安全保障論	3・4前		2			1			1		
		開発援助論	3後	2									
		国際金融論	2・3後		2				1				
		国際情報論	2・3後		2				1				
		国際社会と環境保全	3前		2								兼1
		国際社会と人権	3・4後	2						1			
		異文化コミュニケーション	3前	2							1		
		国際文化論	3・4後		2						1		
		ジェンダー論	3・4後		2						1		
	地域の理解	地理学概論	1・2後		2								兼1
		東アジア論	2後	2				1					
長崎と東アジア		2後		2				1					
地域研究(中国)		3前	2					1					
地域研究(朝鮮半島)		3後	2						1				
地域研究(東南アジア)		2・3後		2						1			
地域研究(アメリカ)		3・4前		2					1				
地域研究(ヨーロッパ)		3・4前		2						1			
報道研究(中国)		3・4後		2						1			
報道研究(韓国)		3・4後		2							1		
地域観光論		3・4前		2							1		
アジアツーリズム論	3・4後		2							1			
メディア研究	メディア社会学	2後	2				1						
	デジタルメディア論	2・3後		2				1	1				
	メディア表現論	3・4後		2					1				
	メディア活用論	3・4後		2					1				
	広告メディア論	3・4前		2					1				
	ジャーナリズム論	2後	2						1				
	映像ジャーナリズム論	3・4前		2					1				
	時事問題研究	2・3後		2					1				
	文化社会学	3・4前		2						1			
	ネットワーク社会論	3・4前		2					1				
実践科目	ディベート	2・3前	2							3		兼1	
	プレゼンテーション	2・3後	2							3		兼1	
	インターナショナルセミナー	2・3前	2				1			3			
	アカデミック・リーディング	2・3前	2				2	2					
	アカデミック・ライティング	2・3後	2					1		3			
	コミュニケーション演習	3前		2					1				
	社会調査演習	2後		2					1				
	マスコミ文章演習	2後		2				2					
	新聞制作演習	3前		2					1				
	映像制作演習	3後		2					1				
	広告実践演習	3後		2					1				
キャリアインターンシップ	3前・後	2					1						
ゼミナー	基礎演習	2通	4				9	11	1				
	専門演習	3通	4				9	11	1				
	卒業論文	4通	4				9	11	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科専門科目	基幹科目	国際事情	2・3前		2			1					兼2
		国際コミュニケーション論	2前	2				1					
		情報メディア文化論	2・3前		2				1				
		ネットワーク経済論	2・3後		2					1			
	グローバル社会の研究	国際機構論	2後	2				1					
		安全保障論	3・4前		2				1				
		開発援助論	3後	2							1		
		国際金融論	2・3前		2					1			
		国際情報論	2・3後		2					1			
		国際社会と環境保全	3前		2						1		兼1
		国際社会と人権	3・4前	2							1		
		異文化コミュニケーション	3前	2							1	1	
		国際文化論	3・4前		2						1		
		ジェンダー論	3・4後		2						1		
	地域の理解	地理学概論	1・2前		2								兼1
		東アジア論	2後	2						2			
長崎と東アジア		2後		2					1				
地域研究(中国)		3前	2						1				
地域研究(朝鮮半島)		3後	2							1			
地域研究(東南アジア)		2・3後		2						1			
地域研究(アメリカ)		3・4前		2						1			
地域研究(ヨーロッパ)		3・4前		2						1			
報道研究(中国)		3・4後		2						1			
報道研究(韓国)		3・4後		2						1		兼1	
地域観光論		3・4前		2						1			
アジアツーリズム論	3・4後		2							1			
メディア研究	メディア社会学	2後	2						1				
	デジタルメディア論	2・3後		2						1			
	メディア表現論	3・4後		2					1				
	メディア活用論	3・4後		2					1				
	広告メディア論	3・4前		2						1		兼1	
	ジャーナリズム論	2後	2							1			
	映像ジャーナリズム論	3・4前		2						1			
	時事問題研究	2・3後		2						1			
	文化社会学	3・4前		2							1		
	ネットワーク社会論	3・4前		2						1			
実践科目	ディベート	2・3前	2								1	兼1	
	プレゼンテーション	2・3後	2								1	兼1	
	インターナショナルセミナー	2・3前	2				1				1		
	アカデミック・リーディング	2・3前	2				2	2			1		
	アカデミック・ライティング	2・3後	2						1		1		
	コミュニケーション演習	3前		2						1			
	社会調査演習	2後		2								兼2	
	マスコミ文章演習	2後		2					2				
	新聞制作演習	3前		2						1			
	映像制作演習	3後		2							1		
	広告実践演習	3後		2								兼1	
キャリアインターンシップ	3前・後	2							1				
ゼミナー	基礎演習	2通	4						10	10			
	専門演習	3通	4						10	10			
	卒業論文	4通	4						10	10			

教職に関する科目	現代教職論	1後			2					兼1
	教育学概論	2前			2	1				
	教育心理学	1前			2					兼1
	教育社会・制度学	1前			2					兼1
	教育法規	2前			2					兼1
	教育課程論	1前			2	1				
	社会科教育法Ⅰ	2前			2					兼1
	社会科教育法Ⅱ	2後			2					兼1
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2前			2					兼1
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2後			2					兼1
	道德教育指導論	2前			2					兼1
	特別活動指導論	3前			2	1				
	教育方法技術論	2後			2	1				
	生徒指導論（進路指導含む）	3前			2					兼1
	教育相談・カウンセリング	3前			2					兼1
	教育実習Ⅰ（事前・事後指導含む）	4通			5	1				
	教育実習Ⅱ（事前・事後指導含む）	4通			3	1				
	教職実践演習（中・高）	4後			2	1				

卒業要件及び履修方法

【卒業要件単位 128単位】  
 ○全学教育科目 48単位(必修10単位、選択必修22単位、選択16単位)  
 ・『英語』又は『中国語』のいずれか20単位必修(外国人留学生を除く)  
 ・『長崎を学ぶ』より2単位以上  
 ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能  
 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上  
 ○学科専門科目 80単位(必修60単位、選択20単位)  
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

教職に関する科目	現代教職論	1後			2					兼1
	教育学概論	2前			2	1				
	教育心理学	1前			2					兼1
	教育社会・制度学	1前			2					兼1
	教育法規	2前			2					兼1
	教育課程論	1前			2	1				
	社会科教育法Ⅰ	2前			2					兼1
	社会科教育法Ⅱ	2後			2					兼1
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2前			2					兼1
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2後			2					兼1
	道德教育指導論	2前			2	1				
	特別活動指導論	3前			2	1				
	教育方法技術論	2後			2	1				
	生徒指導論（進路指導含む）	3前			2					兼1
	教育相談・カウンセリング	3前			2					兼1
	教育実習Ⅰ（事前・事後指導含む）	4通			5	1				
	教育実習Ⅱ（事前・事後指導含む）	4通			3	1				
	教職実践演習（中・高）	4後			2	1				

卒業要件及び履修方法

【卒業要件単位 128単位】  
 ○全学教育科目 48単位(必修10単位、選択必修22単位、選択16単位)  
 ・『英語』又は『中国語』のいずれか20単位必修(外国人留学生を除く)  
 ・『長崎を学ぶ』より2単位以上  
 ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能  
 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上  
 ○学科専門科目 80単位(必修60単位、選択20単位)  
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))







**【卒業要件単位 128単位】**

- 全学教育科目 48単位(必修10単位、選択必修22単位、選択16単位)
- ・『英語』又は『中国語』のいずれか20単位必修(外国人留学生を除く)
- ・『長崎を学ぶ』より2単位以上
- ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能
- 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上
- 学科専門科目 80単位(必修60単位、選択20単位)

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

**【卒業要件単位 128単位】**

- 全学教育科目 48単位(必修10単位、選択必修22単位、選択16単位)
- ・『英語』又は『中国語』のいずれか20単位必修(外国人留学生を除く)
- ・『長崎を学ぶ』より2単位以上
- ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能
- 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上
- 学科専門科目 80単位(必修60単位、選択20単位)

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	教養セミナー	教養セミナー	1前	2			11	10				
	人文科学	日本史概説	1・2・3・4前	2								兼1
		西洋史概説	1・2・3・4後	2			1					
		東洋史概説	1・2・3・4前	2								兼1
		人文地理学	1・2・3・4後	2								兼1
		哲学	1・2・3・4後	2			1					
		倫理学	1・2・3・4後	2								兼1
		文学	1・2・3・4後	2			1					
		心理学	1・2・3・4前	2				1				
		文化人類学	1・2・3・4後	2								兼1
		国語表現	1・2・3・4後	2								兼1
	社会科学	日本国憲法	1・2・3・4前	2								兼1
		法学	1・2・3・4前	2								兼1
		民法入門	1・2・3・4前	2								兼1
		政治学	1・2・3・4後	2			1					
		社会学	1・2・3・4後	2				1				
		現代社会と経済	1・2・3・4後	2				1				
		現代の企業経営 (未開講)	1・2・3・4前	2								兼1
		生活と社会保障制度	1・2・3・4後	2								兼1
		現代社会の課題	1・2・3・4後	2								兼5
	自然科学	数学	1・2・3・4前	2								兼2
		統計学	1・2・3・4前	2								兼2
		化学	1・2・3・4後	2								兼1
		物理学	1・2・3・4前	2								兼1
		生物科学	1・2・3・4前	2								兼1
		科学史	1・2・3・4前	2								兼1
	健康科学	ライフスポーツ	1・2・3・4前・後	1								兼5
		現代人とスポーツ	1・2・3・4後	2								兼1
		運動と栄養	1・2・3・4後	2								兼1
		食文化論	1・2・3・4前	2								兼1
		健康と科学	1・2・3・4前	2								兼1
		被曝と健康	1・2・3・4後	1								兼1
		暮らしの中の救急法	1・2・3・4前	2								兼1
		対人関係論	1・2・3・4前	2								兼1
	情報科学	情報処理概論	1・2・3・4前	2								兼1
		情報処理演習Ⅰ	1前	2								兼19
情報処理演習Ⅱ		1・2後	2								兼19	
長崎を学ぶ	長崎と文化	1・2・3・4後	2			1					兼1	
	長崎の歴史と今	1・2・3・4後	2								兼1	
	長崎と宗教	1・2・3・4後	2								兼1	
	シーボルトと長崎	1・2・3・4後	2								兼1	
	長崎と産業	1・2・3・4前	2								兼7	
	長崎と平和	1・2・3・4前	2				1					
ぶにしま	長崎のしまに学ぶ	1前	2			11	10					
	しまのフィールドワーク	1通	2			11	10					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1・2後	2								兼1	
	キャリアデザインⅡ	2・3後	2								兼1	
	インターンシップ	2・3通	2								兼1	
	ボランティア活動	1・2・3・4通	2				1					
外国語	英語	英語実践演習Ⅰ	1前・後	1		1						
		英語実践演習Ⅱ	1前・後	1		1						
		英語実践演習Ⅲ	1前・後	1		1						
		英語実践演習Ⅳ	1前・後	1			1					
		英語実践演習Ⅴ	1・2前・後	1			1					
		英語実践演習Ⅵ	1・2前・後	1			1					
		英語実践演習Ⅶ	1・2前・後	1			1					
		英語実践演習Ⅷ	1・2・3前・後	1			1					
		英語実践演習Ⅸ	1・2・3前・後	1			1					
		オール・コミュニケーションⅠ	1前	1					2			兼1
オール・コミュニケーションⅡ	1後	1					2			兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学教育科目	英語	オーラル・コミュニケーションⅢ	2前	1					2			兼1	
		オーラル・コミュニケーションⅣ	2後	1					2			兼1	
		リーディングⅠ	1前	1		1	2						
		リーディングⅡ	1後	1		1	2						
		リーディングⅢ	2前	1		1	1						
		ライティングⅠ	1後	1		1	1	1					
		ライティングⅡ	2後	1					2			兼1	
	海外語学研修(英語)	1・2前・後	2			1	1						
	中国語	中国語ⅠA(文法)	1前	1									兼1
		中国語ⅠA(会話)	1前	1			1						兼1
		中国語ⅠA(ヒアリング作文)	1・2前	1									兼1
		中国語ⅠA(筆記・読解)	1・2前	1									兼1
		中国語ⅠB(文法)	1後	1									兼1
		中国語ⅠB(会話)	1後	1			1						兼1
		中国語ⅠB(ヒアリング作文)	1・2後	1									兼1
		中国語ⅠB(筆記・読解)	1・2後	1									兼1
		中国語ⅡA(講読)	1・2前	1									兼1
		中国語ⅡA(会話)	1・2前	1				1					兼1
		中国語ⅡA(ヒアリング作文)	1・2・3前	1			1						兼1
		中国語ⅡA(筆記・読解)	1・2・3前	1									兼1
		中国語ⅡB(講読)	1・2後	1									兼1
		中国語ⅡB(会話)	1・2後	1				1					兼1
		中国語ⅡB(ヒアリング作文)	1・2・3後	1					1				兼1
		中国語ⅡB(筆記・読解)	1・2・3後	1									兼1
	中国語ⅢA(時事・新聞)	1・2・3前	1									兼1	
	中国語ⅢA(表現)	1・2・3前	1									兼1	
	海外語学研修(中国語)	1・2前・後	2				1						
	その他	韓国・朝鮮語ⅠA	1・2・3前	1									兼1
		韓国・朝鮮語ⅠB	1・2・3後	1									兼1
		韓国・朝鮮語ⅡA	2・3・4前	1									兼1
		韓国・朝鮮語ⅡB	2・3・4後	1									兼1
		韓国・朝鮮語ⅢA(未開講)	2・3・4前	1									兼1
		韓国・朝鮮語ⅢB	2・3・4後	1									兼1
		海外語学研修(韓国・朝鮮語)	1・2・3後	2			1						兼1
		フランス語ⅠA	1・2・3前	1									兼1
		フランス語ⅠB	1・2・3後	1									兼1
		スペイン語ⅠA	1・2・3前	1									兼1
	スペイン語ⅠB	1・2・3後	1									兼1	
	ドイツ語ⅠA	1・2・3前	1									兼1	
	ドイツ語ⅠB	1・2・3後	1									兼1	
	留学生科目	日本語ⅠA	1前	1									兼1
		日本語ⅠB	1後	1									兼1
		日本語ⅡA	1前	1									兼1
		日本語ⅡB	1後	1									兼1
		日本語ⅢA	1・2前	1									兼1
		日本語ⅢB	1・2後	1									兼1
		日本語ⅣA	1・2前	1									兼1
日本語ⅣB		1・2後	1									兼1	
日本語ⅤA		1・2前	1									兼1	
日本語ⅤB		1・2後	1									兼1	
日本語ⅥA		1・2前	1									兼1	
日本語ⅥB		1・2後	1									兼1	
日本語ⅦA		1・2前	1									兼1	
日本語ⅦB		1・2後	1									兼1	
日本事情ⅠA		1・2前	2									兼1	
日本事情ⅠB		1・2後	2									兼1	
日本事情ⅡA	1・2前	2									兼1		
日本事情ⅡB	1・2後	2									兼1		
学専専門科目	入門科目	国際社会学入門	1前	2				2					
		国際関係論入門	1前	2		1							
		メディア社会学入門	1後	2				1					
		社会調査入門	1前	2				1					
		法律学総論	1・2前	2								兼1	
	基幹科目	マスコミュニケーション論	1後	2			1						
		比較文化論	1後	2				2					
	国際経済学	1後	2				1						
	国際法	2前	2								兼1		
	国際政治学	2後	2			1							
	対外政策論	2・3後	2			1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	基幹科目	国際事情 (未開講)	2・3前	2		1						兼2
		国際コミュニケーション論	2前	2		1	1					
		情報メディア文化論	2・3前	2		1						
		ネットワーク経済論	2・3後	2		1						
	グローバル社会の研究	国際機構論	2後	2		1						
		安全保障論	3・4前	2		1						兼1
		開発援助論	3後	2								
		国際金融論	2・3前	2		1						
		国際情報論	2・3後	2		1						
		国際社会と環境保全	3後	2								兼1
		国際社会と人権	3・4前	2			1					
		異文化コミュニケーション	3前	2		2						
		国際文化論	3・4前	2		1						
		ジェンダー論	3・4後	2		1						
	地域の理解	地理学概論	1・2前	2								兼1
		東アジア論	2後	2		2						
		長崎と東アジア	2後	2		1						
		地域研究 (中国)	3前	2		1						
		地域研究 (朝鮮半島)	3後	2		1						
		地域研究 (東南アジア) (未開講)	2・3前	2			1					
		地域研究 (アメリカ)	3・4前	2		1						
		地域研究 (ヨーロッパ)	3・4前	2		1						
		報道研究 (中国)	3・4後	2		1						兼1
		報道研究 (韓国) (未開講)	3・4後	2								
	メディア研究	地域観光論	3・4前	2		1						兼1
		アジアツーリズム論	3・4後	2								
		メディア社会学	2後	2			1					
		デジタルメディア論	2・3後	2			1					
		メディア表現論	3・4後	2		1						
		メディア活用論	3・4後	2		1						兼1
		広告メディア論	3・4前	2								
		ジャーナリズム論	2後	2		1						
		映像ジャーナリズム論	3・4前	2		1						
時事問題研究		2・3後	2		1							
実践科目	文化社会学	3・4前	2		1							
	ネットワーク社会論	3・4前	2		1							
	ディベート	2・3前	2					1			兼1	
	プレゼンテーション	2・3後	2					1			兼2	
	インターナショナルセミナー	2・3前	2		1			1				
	アカデミック・リーディング	2・3前	2		2	1		1				
	アカデミック・ライティング	2・3後	2		1			1				
	コミュニケーション演習	3前	2		1						兼2	
	社会調査演習	2後	2									
	マスコミ文章演習	2後	2		1							
ゼミナール	新聞制作演習	3前	2			1						
	映像制作演習	3後	2			1						
	広告実践演習	3後	2								兼1	
	キャリアインターンシップ	3前・後	2		1							
	基礎演習	2通	4		9	10						
	専門演習	3通	4		9	10						
	卒業論文	4通	4		9	10						
	教職に関する科目	現代教職論	1後		2							兼1
		教育学概論	2前		2	1						
		教育心理学	1前		2							兼1
教育社会・制度学		1前		2							兼1	
教育法規		2前		2							兼1	
教育課程論		1前		2	1							
社会科教育法Ⅰ		2前		2							兼1	
社会科教育法Ⅱ		2後		2							兼1	
社会科・公民科教育法Ⅰ		2前		2							兼1	
社会科・公民科教育法Ⅱ		2後		2							兼1	
道徳教育指導論		2前		2	1							
特別活動指導論		3前		2	1							
教育方法技術論		2後		2	1							
生徒指導論 (進路指導含む)		3前		2							兼1	
教育相談・カウンセリング		3前		2							兼1	
教育実習Ⅰ (事前・事後指導含む)		4通		5	1							
教育実習Ⅱ (事前・事後指導含む)		4通		3	1							
教職実践演習 (中・高)	4後		2	1								

卒業要件及び履修方法

【卒業要件単位 128単位】

- 全学教育科目 48単位(必修10単位、選択必修22単位、選択16単位)
- ・『英語』又は『中国語』のいずれか20単位必修(外国人留学生を除く)
- ・『長崎を学ぶ』より2単位以上
- ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能
- 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上
- 学科専門科目 80単位(必修60単位、選択20単位)

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・担当教員の昇任により「教養セミナー」の専任教員等の配置を「准教授12、講師1」から「准教授13」に変更。
- ・教育効果の向上のため「人文地理学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・担当教員の就任辞退及び見直しにより「ライフスポーツ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・教育効果の向上のため「運動と栄養」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・担当教員の昇任により「長崎のしまに学ぶ」「しまのフィールドワーク」の専任教員等の配置を「准教授12、講師1」から「准教授13」に変更。
- ・教員の新規採用により「オーラル・コミュニケーションⅠ」「オーラル・コミュニケーションⅡ」「オーラル・コミュニケーションⅢ」「オーラル・コミュニケーションⅣ」「ライティングⅡ」「ディベート」「プレゼンテーション」「インターナショナルセミナー」「アカデミック・ライティング」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「海外語学研修(英語)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上のため「比較文化論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により「国際経済学」「開発援助論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上のため「地理学概論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・担当教員の昇任により「基礎演習」「専門演習」「卒業論文」の専任教員等の配置を「准教授11、講師1」から「准教授12」に変更。

【平成29年度】

- ・担当教員の就任辞退及び所属学科変更により「教養セミナー」「長崎のしまに学ぶ」「しまのフィールドワーク」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授11」に変更。
- ・担当教員の所属学科変更により「日本史概説」「長崎の歴史と今」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「ライフスポーツ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼19」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「オーラル・コミュニケーションⅠ」「オーラル・コミュニケーションⅡ」「オーラル・コミュニケーションⅢ」「オーラル・コミュニケーションⅣ」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の長期研修のため「中国語ⅡB(ヒアリング作文)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・授業運営上の都合により「海外語学研究(韓国・朝鮮語)」の配当年次を「1・2・3前後」から「1・2・3後」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「国際社会学入門」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教育効果の向上のため「法律学総論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上のため「東アジア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「アジアツーリズム論」「広告メディア論」「広告実践演習」の専任教員等の配置から「准教授1」を削除。後任未定。
- ・担当教員の見直しにより「デジタルメディア論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「メディア活用論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「ディベート」「プレゼンテーション」「インターナショナルセミナー」「アカデミック・ライティング」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「社会調査演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「基礎演習」「専門演習」「卒業論文」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「道徳教育指導論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の就任辞退により「教養セミナー」「長崎のしまに学ぶ」「しまのフィールドワーク」「基礎演習」「専門演習」「卒業論文」の専任教員等の配置を「准教授11」から「准教授10」に変更。
- ・教育効果の向上のため「食文化論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「オーラル・コミュニケーションⅠ」「オーラル・コミュニケーションⅡ」「オーラル・コミュニケーションⅢ」「オーラル・コミュニケーションⅣ」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2、兼1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「ライティングⅡ」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師2、兼1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「国際法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「開発援助論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際金融論」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際社会と環境保全」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際社会と人権」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際文化論」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「地域観光論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の就任により「アジアツーリズム論」「広告メディア論」「広告実践演習」の専任教員等の配置を「兼1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「ディベート」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「インターナショナルセミナー」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「アカデミック・リーディング」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退により「アカデミック・ライティング」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「マスコミ文章演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の昇任、退職及び採用により「教養セミナー」「長崎のしまに学ぶ」「しまのフィールドワーク」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授12」に、「基礎演習」「専門演習」「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」にそれぞれ変更。
- ・担当教員の就任辞退により「ライフスポーツ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「長崎と産業」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の採用により「オーラル・コミュニケーションⅠ」「オーラル・コミュニケーションⅡ」「オーラル・コミュニケーションⅢ」「オーラル・コミュニケーションⅣ」「ライティングⅡ」の専任教員等の配置を「講師2、兼1」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「リーディングⅠ」「リーディングⅡ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任及び見直しにより「中国語ⅠA(会話)」「中国語ⅠB(会話)」「中国語ⅡA(会話)」「中国語ⅡB(会話)」「中国語ⅡB(ヒアリング作文)」「海外語学研究(中国語)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により「比較文化論」「異文化コミュニケーション」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に、「アカデミック・ライティング」を「准教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の採用により「開発援助論」「国際社会と環境保全」「アジアツーリズム論」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上のため「国際社会と環境保全」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「報道研究(韓国)」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。教育効果向上のため配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより「プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「講師1、兼2」から「講師1、兼1」に変更。
- ・担当教員の採用により「マスコミ文章演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	148 科目	18 科目	198 科目	32 科目 [ 0 ]	148 科目 [ 0 ]	18 科目 [ 0 ]	198 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{198} = \boxed{1.01}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	125,685 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	125,685 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	51,250 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	51,250 m <sup>2</sup>				
	小計	176,935 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	176,935 m <sup>2</sup>				
	その他	11,920 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11,920 m <sup>2</sup>				
	合計	188,855 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	188,855 m <sup>2</sup>				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	48,532 m <sup>2</sup> ( 48,532 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	48,532 m <sup>2</sup> ( 48,532 m <sup>2</sup> )					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 講義室、情報処理学習施設を正しい数に訂正(30)使用頻度が少ない講義室を事務室就任辞退による(H28)			
	45 44 45 室	44室	30室	11 44室 (補助職員 2人)	4室 (補助職員 1 2人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			研究室数としては28が正しいため訂正(30)平成29年4月専任教員2名減員のため(H29)			
	国際社会学部 国際社会学科		28 26 28 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	機械・器具は国際社会学部及び情報システム学部全体 ※大学での共用分 図書 165,084冊[45,993冊] 学術雑誌 273冊[127冊] 電子ジャーナル 12[12] 視聴覚資料 4,945点 修学環境を改善するため、必要に応じて図書等の購入、除籍等を行ったもの(元)修学環境を改善するた	
	国際社会学部	97,878 [5,919] (96,017[5,679]) (95,424[5,605])	294 [148] (51[17]) (50[17])	5 [2] (8[8]) (8[8])	2,149 (2,096) (2,088)	379 707 (619)	0 (0)		
	計	97,878 [5,919] (96,017[5,679]) (95,424[5,605])	294 [148] (51[17]) (50[17])	5 [2] (8[8]) (10[10])	2,149 (2,096) (2,088)	379 707 (619)	0 (0)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数			佐世保校ラーニングコモンズ整備に伴うもの		
	6,462 m <sup>2</sup>	677 603		500,000					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	4,827 m <sup>2</sup>	武道館、弓道場テニスコート(14面)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	1,030千円	1,030千円	図書購入費	83,387千円	75,227千円	75,227千円	
		共同研究費等	93,688千円	93,688千円	設備購入費	232,599千円	121,615千円	121,615千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※( )学生納付金は県内の学生の納付金額	
		906千円 (729千円)	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		長崎県からの運営費交付金を充当							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長 崎 県 立 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部						—			長崎県佐世保市 川下町123番地	
経済学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—		平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
地域政策学科	4	—	—	—	学士 (地域政策学)	—		平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
流通・経営学科	4	—	—	—	学士 (流通・経営学)	—		平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
経営学部						1.05				
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.05		平成28年度		
国際経営学科	4	60	—	240	学士 (経営学)	1.04		平成28年度		
地域創造学部						1.03				
公共政策学科	4	120	—	480	学士 (公共政策学)	1.03		平成28年度		
実践経済学科	4	130	—	520	学士 (経済学)	1.04		平成28年度		
経済学研究科						0.45				
産業経済・経済開発専攻	2	12	—	24	修士 (経済学)	0.45		平成20年度		
国際情報学部						—			長崎県西彼杵郡 長与町まなび野 1丁目1番1	
国際交流学科	4	—	—	—	学士 (国際交流学)	—		平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	—	—	—	学士 (情報メディア学)	—		平成20年度		※平成28年4月学生募集停止 ※平成31年4月廃止
国際社会学部						1.08				
国際社会学科	4	60	—	240	学士 (国際社会学)	1.08		平成28年度		
情報システム学部						1.08				
情報システム学科	4	40	—	160	学士 (情報システム学)	1.09		平成28年度		
情報セキュリティ学科	4	40	—	160	学士 (情報セキュリティ学)	1.07		平成28年度		
看護栄養学部						1.05				
看護学科	4	60	—	240	学士 (看護学)	1.06		平成20年度		
栄養健康学科	4	40	—	160	学士 (栄養健康学)	1.05		平成20年度		
国際情報学研究科						0.17				
国際交流学専攻	2	6	—	12	修士 (国際交流学)	0.20		平成20年度		
情報メディア学専攻	2	4	—	8	修士 (情報メディア学)	0.12		平成20年度		
人間健康科学研究科						0.71				
看護学専攻	2	8	—	16	修士 (看護学)	1.02		平成20年度		
栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	修士 (栄養学)	0.40		平成20年度		
人間健康科学研究科						0.24				
栄養科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (栄養学)	0.24		平成20年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

<国際社会学部 国際社会学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	瀬端 孝夫 (64) 平成28年4月	専	教授	瀬端 孝夫 (64) 平成28年4月									
		教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文									
専	教授	李 炯喆 (63) 平成28年4月	専	教授	李 炯喆 (63) 平成28年4月	専	教授	李 炯喆 (64) 平成28年4月	専	教授	李 炯喆 (65) 平成28年4月	専	教授	李 炯喆 (66) 平成28年4月
		教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 政治学 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 海外語学研修(韓国・朝鮮語) 対外政策論 地域研究(朝鮮半島) 基礎演習 専門演習 卒業論文 報道研究(韓国)
専	教授	村上 雅通 (62) 平成28年4月	専	教授	村上 雅通 (62) 平成28年4月	専	教授	村上 雅通 (63) 平成28年4月	専	教授	村上 雅通 (64) 平成28年4月			
		教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際情報論 映像ジャーナリズム論 時事問題研究 マスコミ文章演習 キャリアインターンシップ 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際情報論 映像ジャーナリズム論 時事問題研究 マスコミ文章演習 キャリアインターンシップ 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際情報論 映像ジャーナリズム論 時事問題研究 マスコミ文章演習 キャリアインターンシップ 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際情報論 映像ジャーナリズム論 時事問題研究 マスコミ文章演習 キャリアインターンシップ 基礎演習 専門演習 卒業論文			
専	教授	上村 俊彦 (61) 平成28年4月	専	教授	上村 俊彦 (61) 平成28年4月	専	教授	上村 俊彦 (62) 平成28年4月	専	教授	上村 俊彦 (63) 平成28年4月	専	教授	上村 俊彦 (64) 平成28年4月
		教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライディングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライディングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文 海外語学研修(英語)			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライディングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文 海外語学研修(英語)			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライディングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文 海外語学研修(英語)			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 英語実践演習Ⅰ 英語実践演習Ⅱ 英語実践演習Ⅲ リーディングⅠ リーディングⅡ リーディングⅢ ライディングⅠ アカデミック・リーディング 基礎演習 専門演習 卒業論文 海外語学研修(英語)
						専	教授	笠原 敏彦 (58) 平成29年4月	専	教授	笠原 敏彦 (59) 平成29年4月	専	教授	笠原 敏彦 (60) 平成29年4月
								教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 国際関係論入門 東アジア論 地域研究(アメリカ) 基礎演習 専門演習 卒業論文
専	教授	竹部 隆昌 (57) 平成28年4月	専	教授	竹部 隆昌 (57) 平成28年4月	専	教授	竹部 隆昌 (58) 平成28年4月	専	教授	竹部 隆昌 (59) 平成28年4月	専	教授	竹部 隆昌 (60) 平成28年4月
		教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説			教養セミナー 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク 西洋史概説
専	教授	下野 孝文 (57) 平成28年4月	専	教授	下野 孝文 (57) 平成28年4月	専	教授	下野 孝文 (58) 平成28年4月	専	教授	下野 孝文 (59) 平成28年4月	専	教授	下野 孝文 (60) 平成28年4月
		教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク			教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク			教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク			教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク			教養セミナー 文学 長崎と文化 長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉光 正絵 (47)
		平成28年4月
専	准教授	門部 昌志 (47)
		平成28年4月
専	准教授	唐津 理恵 (43)
		平成28年4月
専	准教授	松尾 晋一 (42)
		平成28年4月
専	准教授	PONGSAPITAKSANTI Piya (39)
		平成28年4月
専	准教授	福島 涼史 (38)
		平成28年4月

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉光 正絵 (47)
		平成28年4月
専	准教授	門部 昌志 (47)
		平成28年4月
専	准教授	唐津 理恵 (43)
		平成28年4月
専	准教授	松尾 晋一 (42)
		平成28年4月
専	准教授	PONGSAPITAKSANTI Piya (39)
		平成28年4月
専	准教授	福島 涼史 (38)
		平成28年4月

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉光 正絵 (48)
		平成28年4月
専	准教授	門部 昌志 (48)
		平成28年4月
専	准教授	唐津 理恵 (44)
		平成28年4月
兼任	准教授	松尾 晋一 (43)
		平成28年4月
専	准教授	福島 涼史 (39)
		平成28年4月

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉光 正絵 (49)
		平成28年4月
専	准教授	門部 昌志 (49)
		平成28年4月
専	准教授	唐津 理恵 (45)
		平成28年4月
兼任	教授	松尾 晋一 (44)
		平成28年4月
兼任	講師	PONGSAPITAKSANTI Piya (41)
		平成30年4月
専	准教授	福島 涼史 (40)
		平成28年4月

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専	准教授	吉光 正絵 (50)
		平成28年4月
専	准教授	門部 昌志 (50)
		平成28年4月
専	准教授	唐津 理恵 (46)
		平成28年4月
専	准教授	賈 曦 (43)
		平成31年4月
兼任	教授	松尾 晋一 (45)
		平成28年4月
兼任	講師	PONGSAPITAKSANTI Piya (42)
		平成30年4月
専	准教授	福島 涼史 (41)
		平成28年4月



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	伊藤 憲一 (69)
		平成28年4月
兼担	教授	四童子 好廣 (66)
		平成28年4月
兼担	教授	樋口 才二 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	宮崎 明人 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	古河 幹夫 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	柳田 芳伸 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	田中 一成 (61)
		平成28年4月
兼担	教授	長沼 信之 (60)
		平成28年4月
兼担	教授	永野 哲也 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	辺見 一男 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	石川 雄一 (58)
		平成28年4月
兼担	教授	小松 文子 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	西島 博樹 (56)
		平成28年4月
兼担	教授	大曲 勝久 (56)
		平成28年4月
兼担	教授	松崎 なつめ (56)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	伊藤 憲一 (69)
		平成28年4月
兼担	教授	樋口 才二 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	宮崎 明人 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	古河 幹夫 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	柳田 芳伸 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	田中 一成 (61)
		平成28年4月
兼担	教授	長沼 信之 (60)
		平成28年4月
兼担	教授	永野 哲也 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	辺見 一男 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	石川 雄一 (58)
		平成28年4月
兼担	教授	小松 文子 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	大曲 勝久 (56)
		平成28年4月
兼担	教授	松崎 なつめ (56)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	樋口 才二 (64)
		平成28年4月
兼担	教授	宮崎 明人 (64)
		平成28年4月
兼担	教授	古河 幹夫 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	柳田 芳伸 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	田中 一成 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	長沼 信之 (61)
		平成28年4月
兼担	教授	永野 哲也 (58)
		平成28年4月
兼担	教授	辺見 一男 (58)
		平成28年4月
兼担	教授	小松 文子 (58)
		平成28年4月
兼担	教授	大曲 勝久 (57)
		平成28年4月
兼担	教授	松崎 なつめ (57)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	古河 幹夫 (64)
		平成28年4月
兼担	教授	柳田 芳伸 (64)
		平成28年4月
兼担	教授	田中 一成 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	長沼 信之 (62)
		平成28年4月
兼担	教授	永野 哲也 (59)
		平成28年4月
兼担	教授	辺見 一男 (59)
		平成28年4月
兼担	教授	小松 文子 (59)
		平成28年4月
兼担	教授	松崎 なつめ (58)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	古河 幹夫 (65)
		平成28年4月
兼担	教授	田中 一成 (64)
		平成28年4月
兼担	教授	長沼 信之 (63)
		平成28年4月
兼担	教授	永野 哲也 (60)
		平成28年4月
兼担	教授	辺見 一男 (60)
		平成28年4月
兼担	教授	小松 文子 (60)
		平成28年4月
兼担	教授	松崎 なつめ (59)
		平成28年4月

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (55) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	立石 憲彦 (55) 平成28年4月 現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法
兼任	教授	谷澤 毅 (54) 平成28年4月 長崎と産業※
兼任	教授	山本 裕 (53) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	大塚 一徳 (53) 平成28年4月 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ 教育心理学
兼任	教授	日下部 茂 (50) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	青木 研 (49) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 雅彦 (46) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	松尾 真一郎 (44) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	山口 文彦 (45) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	平岡 透 (44) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (55) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	立石 憲彦 (55) 平成28年4月 現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法
兼任	教授	谷澤 毅 (54) 平成28年4月 長崎と産業※
兼任	教授	山本 裕 (53) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	大塚 一徳 (53) 平成28年4月 教育心理学
兼任	教授	日下部 茂 (50) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	青木 研 (49) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	神保 充弘 (47) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	加藤 雅彦 (46) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	山口 文彦 (45) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	平岡 透 (44) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鳥丸 聡 (57) 平成29年4月 長崎と産業※
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (56) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	立石 憲彦 (56) 平成28年4月 現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法
兼任	教授	谷澤 毅 (55) 平成28年4月 長崎と産業※
兼任	教授	山本 裕 (54) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	大塚 一徳 (54) 平成28年4月 教育心理学
兼任	教授	日下部 茂 (51) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	青木 研 (50) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	神保 充弘 (48) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	有田 大作 (48) 平成29年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 雅彦 (47) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	山口 文彦 (46) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	平岡 透 (45) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鳥丸 聡 (58) 平成29年4月 長崎と産業※
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (57) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	立石 憲彦 (57) 平成28年4月 現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法
兼任	教授	谷澤 毅 (56) 平成28年4月 長崎と産業※
兼任	教授	大塚 一徳 (55) 平成28年4月 教育心理学
兼任	教授	日下部 茂 (52) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	青木 研 (51) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	神保 充弘 (49) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	有田 大作 (49) 平成29年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 雅彦 (48) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	山口 文彦 (47) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	平岡 透 (46) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鳥丸 聡 (59) 平成29年4月 長崎と産業※
兼任	教授	Somchai CHATVICHENCHAI (58) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	立石 憲彦 (58) 平成28年4月 現代社会の課題※ 暮らしの中の救急法
兼任	教授	谷澤 毅 (57) 平成28年4月 長崎と産業※
兼任	教授	山本 裕 (56) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	大塚 一徳 (56) 平成28年4月 教育心理学
兼任	教授	日下部 茂 (53) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	青木 研 (52) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	神保 充弘 (50) 平成28年4月 現代社会の課題※
兼任	教授	有田 大作 (50) 平成29年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	加藤 雅彦 (49) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	山口 文彦 (48) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	教授	平岡 透 (47) 平成28年4月 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	金谷 一朗 (43)
		平成28年4月
兼担	教授	車 相龍 (42)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉村 元秀 (47)
		平成28年4月
兼担	准教授	片山 徹也 (47)
		平成28年4月
兼担	准教授	富永 美穂子 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉本 諭 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	穴田 啓晃 (43)
		平成28年4月
兼担	准教授	實原 隆志 (40)
		平成28年4月
兼担	准教授	松田 健 (36)
		平成28年4月
兼担	講師	前村(藤本) 葉子 (43)
		平成28年4月
兼担	講師	藤沢 望 (40)
		平成28年4月
兼担	講師	飛奈 卓郎 (38)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	金谷 一朗 (43)
		平成28年4月
兼担	教授	車 相龍 (42)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉村 元秀 (47)
		平成28年4月
兼担	准教授	片山 徹也 (47)
		平成28年4月
兼担	教授	富永 美穂子 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉本 諭 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	穴田 啓晃 (43)
		平成28年4月
兼担	准教授	松田 健 (36)
		平成28年4月
兼担	講師	前村(藤本) 葉子 (43)
		平成28年4月
兼担	講師	藤沢 望 (40)
		平成28年4月
兼担	講師	飛奈 卓郎 (38)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	金谷 一朗 (44)
		平成28年4月
兼担	教授	車 相龍 (43)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉村 元秀 (48)
		平成28年4月
兼担	准教授	片山 徹也 (48)
		平成28年4月
兼担	教授	富永 美穂子 (46)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉本 諭 (46)
		平成28年4月
兼担	准教授	穴田 啓晃 (44)
		平成28年4月
兼担	准教授	松田 健 (37)
		平成28年4月
兼担	講師	前村(藤本) 葉子 (44)
		平成28年4月
兼担	講師	藤沢 望 (41)
		平成28年4月
兼担	准教授	飛奈 卓郎 (39)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	金谷 一朗 (45)
		平成28年4月
兼担	教授	車 相龍 (44)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉村 元秀 (49)
		平成28年4月
兼担	准教授	片山 徹也 (49)
		平成28年4月
兼任	准教授	富永 美穂子 (47)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉本 諭 (47)
		平成28年4月
兼担	教授	穴田 啓晃 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	倉橋 拓也 (45)
		平成30年4月
兼担	准教授	松田 健 (38)
		平成28年4月
兼担	准教授	田村 善弘 (38)
		平成30年4月
兼担	講師	前村(藤本) 葉子 (45)
		平成28年4月
兼担	講師	藤沢 望 (42)
		平成28年4月
兼担	准教授	飛奈 卓郎 (40)
		平成28年4月

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼担	教授	金谷 一朗 (46)
		平成28年4月
兼担	教授	車 相龍 (45)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉村 元秀 (50)
		平成28年4月
兼担	准教授	片山 徹也 (50)
		平成28年4月
兼任	准教授	富永 美穂子 (48)
		平成28年4月
兼担	准教授	吉本 諭 (48)
		平成28年4月
兼担	教授	穴田 啓晃 (46)
		平成28年4月
兼担	准教授	倉橋 拓也 (46)
		平成30年4月
兼担	准教授	松田 健 (39)
		平成28年4月
兼担	准教授	田村 善弘 (39)
		平成30年4月
兼担	講師	芳賀 晋隆 (44)
		平成31年4月
兼担	講師	前村(藤本) 葉子 (46)
		平成28年4月
兼担	講師	藤沢 望 (43)
		平成28年4月
兼担	准教授	飛奈 卓郎 (41)
		平成28年4月



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	
		担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	講師	片岡 千賀之 (70)	片岡 千賀之 (70)	片岡 千賀之 (71)	片岡 千賀之 (71)		
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	長崎と産業※	
兼任	講師	小田 恒治 (69)	小田 恒治 (69)				
		平成28年4月	平成28年4月			道徳教育指導論	
兼任	講師	荒木 幹也 (69)	荒木 幹也 (69)	荒木 幹也 (70)	荒木 幹也 (71)		
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	生徒指導論(進路指導含む)	
兼任	講師	野口 正徳 (68)	野口 正徳 (68)	野口 正徳 (69)			
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月		ライフスポーツ	
兼任	講師	大村 好喜 (67)	大村 好喜 (67)	大村 好喜 (68)			
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月		現代教職論	
兼任	講師	渡邊 節子 (66)	渡邊 節子 (66)				
		平成28年4月	平成28年4月			日本語VA 日本語VB 日本語VIA 日本語VIB 日本語VIA 日本語VIB	
兼任	講師	宮崎 賢太郎 (65)	宮崎 賢太郎 (65)	宮崎 賢太郎 (66)	宮崎 賢太郎 (67)		
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	長崎と宗教	
兼任	講師	山下 義昭 (63)	山下 義昭 (63)	山下 義昭 (64)			
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月		法律学総論	
兼任	講師	古賀 幸久 (63)	古賀 幸久 (63)	古賀 幸久 (64)	古賀 幸久 (65)		
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	国際事情※	
兼任	講師	飯塚 知敬 (63)	飯塚 知敬 (63)	飯塚 知敬 (64)	飯塚 知敬 (65)		
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月	倫理学	
兼任	講師	朝長 美智子 (62)	朝長 美智子 (62)	朝長 美智子 (63)			
		平成28年4月	平成28年4月	平成28年4月		対人関係論	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	宮坂 正英 (62) 平成28年4月
		シーボルトと長崎
兼任	講師	兪 稔生 (61) 平成28年4月
		中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)
		Pascal Yamak (61) 平成28年4月
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB
兼任	講師	福田 正弘 (59) 平成28年4月
		社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ
兼任	講師	劉 愛莉 (59) 平成28年4月
		中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション
		池永 正人 (58) 平成28年4月
		長崎と産業※
兼任	講師	五十嵐 勉 (58) 平成28年4月
		地理学概論
兼任	講師	仲井 幹也 (58) 平成28年4月
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB
兼任	講師	中村 直人 (57) 平成28年4月
		教育法規
兼任	講師	申 明直 (56) 平成28年4月
		報道研究(韓国)
兼任	講師	胡 暁光 (55) 平成28年4月
		中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	宮坂 正英 (62) 平成28年4月
		シーボルトと長崎
兼任	講師	兪 稔生 (61) 平成28年4月
		中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)
		Pascal Yamak (61) 平成28年4月
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB
兼任	講師	福田 正弘 (59) 平成28年4月
		社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ
兼任	講師	劉 愛莉 (59) 平成28年4月
		中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション
		池永 正人 (58) 平成28年4月
		長崎と産業※
兼任	講師	五十嵐 勉 (58) 平成28年4月
		地理学概論
兼任	講師	中村 直人 (57) 平成28年4月
		教育法規
兼任	講師	申 明直 (56) 平成28年4月
		報道研究(韓国)
兼任	講師	胡 暁光 (55) 平成28年4月
		中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	宮坂 正英 (63) 平成28年4月
		シーボルトと長崎
兼任	講師	兪 稔生 (62) 平成28年4月
		中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)
		Pascal Yamak (62) 平成28年4月
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB
兼任	講師	福田 正弘 (60) 平成28年4月
		社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ
兼任	講師	劉 愛莉 (60) 平成28年4月
		中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション
		池永 正人 (59) 平成28年4月
		長崎と産業※
兼任	講師	五十嵐 勉 (59) 平成28年4月
		地理学概論
兼任	講師	中村 直人 (58) 平成28年4月
		教育法規
兼任	講師	申 明直 (57) 平成28年4月
		報道研究(韓国)
兼任	講師	胡 暁光 (56) 平成28年4月
		中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	宮坂 正英 (64) 平成28年4月
		シーボルトと長崎
兼任	講師	兪 稔生 (63) 平成28年4月
		中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)
		Pascal Yamak (63) 平成28年4月
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB
兼任	講師	高山 英男 (61) 平成29年4月
		国際事情※
兼任	講師	劉 愛莉 (61) 平成28年4月
		中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション
兼任	講師	池永 正人 (60) 平成28年4月
		長崎と産業※
兼任	講師	五十嵐 勉 (60) 平成28年4月
		地理学概論
兼任	講師	中村 直人 (59) 平成28年4月
		教育法規
兼任	講師	Spink Niegel (59) 平成30年4月
		オーラル・コミュニケーションⅠ オーラル・コミュニケーションⅡ オーラル・コミュニケーションⅢ オーラル・コミュニケーションⅣ ライティングⅡ プレゼンテーション
		申 明直 (58) 平成28年4月
		報道研究(韓国)
兼任	講師	胡 暁光 (57) 平成28年4月
		中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	宮坂 正英 (65) 平成28年4月
		シーボルトと長崎
兼任	講師	兪 稔生 (64) 平成28年4月
		中国語ⅠB(ヒアリング作文) 中国語ⅡA(講読) 中国語ⅡB(講読) 中国語ⅢA(表現)
		Pascal Yamak (64) 平成28年4月
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB
兼任	講師	長須 正明 (63) 平成31年4月
		生徒指導論(進路指導含む)
兼任	講師	高山 英男 (62) 平成29年4月
		国際事情※
兼任	講師	劉 愛莉 (62) 平成28年4月
		中国語ⅠA(文法) 中国語ⅠB(文法) 中国語ⅠB(筆記・読解) 中国語ⅢA(時事・新聞) ディベート プレゼンテーション
兼任	講師	五十嵐 勉 (61) 平成28年4月
		地理学概論
兼任	講師	中村 直人 (60) 平成28年4月
		教育法規
兼任	講師	申 明直 (58) 平成28年4月
		報道研究(韓国)
兼任	講師	胡 暁光 (58) 平成28年4月
		中国語ⅠA(ヒアリング作文) 中国語ⅠA(筆記・読解) 中国語ⅡA(筆記・読解) 中国語ⅡB(筆記・読解)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷 裕子 (55) 平成28年4月
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任	講師	宮崎 泰司 (54) 平成28年4月
		被曝と健康
兼任	講師	中山 泰道 (54) 平成28年4月
		民法入門
兼任	講師	福田 理香 (51) 平成28年4月
		ライフスポーツ
兼任	講師	中野 明人 (50) 平成28年4月
		教育相談・カウンセリング
兼任	講師	古川 展子 (49) 平成28年4月
		国語表現
兼任	講師	増田 研 (47) 平成28年4月
		文化人類学
兼任	講師	伊志嶺 安博 (47) 平成28年4月
		日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB
兼任	講師	滝澤 晶子 (46) 平成28年4月
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷 裕子 (55) 平成28年4月
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任	講師	宮崎 泰司 (54) 平成28年4月
		被曝と健康
兼任	講師	中山 泰道 (54) 平成28年4月
		民法入門
兼任	講師	中野 明人 (50) 平成28年4月
		教育相談・カウンセリング
兼任	講師	古川 展子 (49) 平成28年4月
		国語表現
兼任	講師	中村 淳 (47) 平成28年4月
		文化人類学
兼任	講師	伊志嶺 安博 (47) 平成28年4月
		日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB
兼任	講師	滝澤 晶子 (46) 平成28年4月
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷 裕子 (56) 平成28年4月
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任	講師	宮崎 泰司 (55) 平成28年4月
		被曝と健康
兼任	講師	中野 明人 (51) 平成28年4月
		教育相談・カウンセリング
兼任	講師	古川 展子 (50) 平成28年4月
		国語表現
兼任	講師	安田 真由美 (49) 平成28年10月
		日本語ⅦA 日本語ⅦB
兼任	講師	中村 淳 (48) 平成28年4月
		文化人類学
兼任	講師	滝澤 晶子 (47) 平成28年4月
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷 裕子 (57) 平成28年4月
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任	講師	宮崎 泰司 (56) 平成28年4月
		被曝と健康
兼任	講師	松井 克行 (54) 平成29年10月
		社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ
兼任	講師	才本 明秀 (53) 平成30年4月
		物理学
兼任	講師	中野 明人 (52) 平成28年4月
		教育相談・カウンセリング
兼任	講師	古川 展子 (51) 平成28年4月
		国語表現
兼任	講師	安田 真由美 (50) 平成28年10月
		日本語ⅦA 日本語ⅦB
兼任	講師	中村 淳 (49) 平成28年4月
		文化人類学
兼任	講師	滝澤 晶子 (48) 平成28年4月
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB
兼任	講師	山口 夕妃子 (48) 平成30年4月
		広告実践演習
兼任	講師	渡邊 勝平 (49) 平成31年4月
		ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷 裕子 (58) 平成28年4月
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任	講師	宮崎 泰司 (57) 平成28年4月
		被曝と健康
兼任	講師	松井 克行 (55) 平成29年10月
		社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ
兼任	講師	才本 明秀 (54) 平成30年4月
		物理学
兼任	講師	中野 明人 (53) 平成28年4月
		教育相談・カウンセリング
兼任	講師	古川 展子 (52) 平成28年4月
		国語表現
兼任	講師	安田 真由美 (51) 平成28年10月
		日本語ⅦA 日本語ⅦB
兼任	講師	中村 淳 (50) 平成28年4月
		文化人類学
兼任	講師	滝澤 晶子 (49) 平成28年4月
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB
兼任	講師	山口 夕妃子 (49) 平成30年4月
		広告実践演習
兼任	講師	渡邊 勝平 (49) 平成31年4月
		ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久芳 崇 (45)
		平成28年4月 東洋史概説
兼任	講師	土肥 大次郎 (44)
		平成28年4月 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ
兼任	講師	田中 理恵 (43)
		平成28年4月 教育社会・制度学
兼任	講師	飛永 高秀 (43)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	奈須 祐治 (41)
		平成28年4月 日本国憲法
兼任	講師	安江 枝里子 (39)
		平成28年4月 地域観光論
兼任	講師	沈 智炫 (38)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	講師	佐々木 正徳 (38)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
兼任	講師	栗原 拓也 (36)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	大谷 鉄平 (37)
		平成28年10月 日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久芳 崇 (45)
		平成28年4月 東洋史概説
兼任	講師	土肥 大次郎 (44)
		平成28年4月 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ
兼任	講師	田中 理恵 (43)
		平成28年4月 教育社会・制度学
兼任	講師	飛永 高秀 (43)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	奈須 祐治 (41)
		平成28年4月 日本国憲法
兼任	講師	安江 枝里子 (39)
		平成28年4月 地域観光論
兼任	講師	沈 智炫 (38)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	講師	佐々木 正徳 (38)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
兼任	講師	飛永 高秀 (43)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	大谷 鉄平 (37)
		平成28年10月 日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久芳 崇 (46)
		平成28年4月 東洋史概説
兼任	講師	保坂 稔 (45)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	土肥 大次郎 (45)
		平成28年4月 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ
兼任	講師	田中 理恵 (44)
		平成28年4月 教育社会・制度学
兼任	講師	飛永 高秀 (44)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	渡辺 貴史 (44)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	奈須 祐治 (42)
		平成28年4月 日本国憲法
兼任	講師	齋藤 仁志 (42)
		平成28年10月 日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB
兼任	講師	安江 枝里子 (40)
		平成28年4月 地域観光論
兼任	講師	沈 智炫 (39)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	講師	佐々木 正徳 (39)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
兼任	講師	飛永 高秀 (43)
		平成28年10月 日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久芳 崇 (47)
		平成28年4月 東洋史概説
兼任	講師	保坂 稔 (46)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	土肥 大次郎 (46)
		平成28年4月 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ
兼任	講師	田中 理恵 (45)
		平成28年4月 教育社会・制度学
兼任	講師	飛永 高秀 (45)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	渡辺 貴史 (45)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	齋藤 仁志 (43)
		平成28年10月 日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB
兼任	講師	守屋 賢輔 (41)
		平成30年4月 日本国憲法
兼任	講師	沈 智炫 (40)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	講師	佐々木 正徳 (40)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
兼任	講師	飛奈 美耶子 (39)
		平成30年4月 ライフスポーツ
兼任	講師	大谷 鉄平 (38)
		平成28年10月 日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久芳 崇 (48)
		平成28年4月 東洋史概説
兼任	講師	保坂 稔 (47)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	土肥 大次郎 (47)
		平成28年4月 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ
兼任	講師	田中 理恵 (46)
		平成28年4月 教育社会・制度学
兼任	講師	飛永 高秀 (46)
		平成28年4月 生活と社会保障制度
兼任	講師	渡辺 貴史 (46)
		平成29年4月 社会調査演習
兼任	講師	錢坪 玲子 (46)
		平成31年4月 日本事情ⅠA 日本事情ⅠB 日本事情ⅡA 日本事情ⅡB
兼任	講師	守屋 賢輔 (42)
		平成30年4月 日本国憲法
兼任	講師	沈 智炫 (41)
		平成28年4月 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
兼任	講師	飛奈 美耶子 (40)
		平成30年4月 ライフスポーツ
兼任	講師	大谷 鉄平 (39)
		平成28年10月 日本語ⅤA 日本語ⅤB 日本語ⅥA 日本語ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉	
			担当授業科目名
兼任	講師	山川 俊和 (35) 平成28年4月	現代の企業経営 国際社会と環境保全
兼任	講師	小島 大輔 (35) 平成28年4月	人文地理学
兼任	講師	坂本 彩希絵 (33) 平成28年4月	ドイツ語 IA ドイツ語 IB
兼任	講師	北嶋 康雄 (32) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	吉岡 潔志 (31) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	種田 和彦 (30) 平成28年4月	法学
兼任	講師	西山 美久 (30) 平成28年4月	国際事情※
兼任	講師	藤巻 慎 (27) 平成28年4月	ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉	
			担当授業科目名
兼任	講師	山川 俊和 (35) 平成28年4月	現代の企業経営 国際社会と環境保全
兼任	講師	小島 大輔 (35) 平成28年4月	人文地理学
兼任	講師	坂本 彩希絵 (33) 平成28年4月	ドイツ語 IA ドイツ語 IB
兼任	講師	北嶋 康雄 (32) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	吉岡 潔志 (31) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	種田 和彦 (30) 平成28年4月	法学
兼任	講師	西山 美久 (30) 平成28年4月	国際事情※
兼任	講師	藤巻 慎 (27) 平成28年4月	ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉	
			担当授業科目名
兼任	講師	山川 俊和 (36) 平成28年4月	現代の企業経営 国際社会と環境保全
兼任	講師	小島 大輔 (36) 平成28年4月	人文地理学
兼任	講師	坂本 彩希絵 (34) 平成28年4月	ドイツ語 IA ドイツ語 IB
兼任	講師	北嶋 康雄 (33) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	吉岡 潔志 (32) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	種田 和彦 (31) 平成28年4月	法学
兼任	講師	土屋 吉史 (29) 平成29年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	藤巻 慎 (28) 平成28年4月	ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉	
			担当授業科目名
兼任	講師	山川 俊和 (37) 平成28年4月	現代の企業経営 国際社会と環境保全
兼任	講師	小島 大輔 (37) 平成28年4月	人文地理学
兼任	講師	小松 悟 (36) 平成30年4月	開発援助論
兼任	講師	坂本 彩希絵 (35) 平成28年4月	ドイツ語 IA ドイツ語 IB
兼任	講師	北嶋 康雄 (34) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	吉岡 潔志 (33) 平成28年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	種田 和彦 (32) 平成28年4月	法学
兼任	講師	沖 祐太郎 (32) 平成30年4月	国際法
兼任	講師	土屋 吉史 (30) 平成29年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	藤巻 慎 (29) 平成28年4月	ライフスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉	
			担当授業科目名
兼任	講師	山川 俊和 (38) 平成28年4月	現代の企業経営
兼任	講師	小島 大輔 (38) 平成28年4月	人文地理学
兼任	講師	清水 志保 (38) 平成31年4月	ライフスポーツ
兼任	講師	坂本 彩希絵 (36) 平成28年4月	ドイツ語 IA ドイツ語 IB
兼任	講師	種田 和彦 (33) 平成28年4月	法学
兼任	講師	沖 祐太郎 (33) 平成30年4月	国際法

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・和田講師が平成28年4月から准教授へ昇任。
- ・生田講師就任辞退のためW. Macdonald講師に変更。
- ・實原教授就任辞退のため奈須講師、種田講師に変更。

【平成29年度】

- ・瀬端教授定年退職により笠原教授就任。
- ・松尾准教授所属変更により専任から兼任へ変更。
- ・ピヤ教授退職により保坂講師及び渡辺講師に変更。その他配科年次前の科目については後任未定。
- ・スミス講師退職により他の専任講師3名にて担当。
- ・平成29年4月田中講師就任。

【平成30年度】

- ・和田准教授就任辞退により河又准教授、小松講師に変更。
- ・Millington講師、Mason講師就任辞退によりHaddow講師及びNiegel講師に変更。
- ・担当教員見直しにより沖講師就任、福島准教授から担当変更。

【令和元年度】

- ・村上教授退職、井上教授就任。
- ・山本准教授が教授に昇任。
- ・賈准教授、Bird講師就任。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	12	5	0	28	12	10	4	0	26
(11)	(12)	(5)	(0)	(28)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
12	10	4	0	26	12	10	4	0	26
[ 1 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{28} = \boxed{92.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{26} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	生田 和也	28.3	必修	ライティング I	①	他大学への転出による就任辞退（28）			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	PONGSAPITAKSANTI Piya	29.3	必修	教養セミナー	①	H29.3.31付け他大学転出のため辞任（29）
				必修	長崎のしまに学ぶ	①	
				必修	しまのフィールドワーク	①	
				必修	国際社会学入門※	①	
				選択	アジアツーリズム論	②	
				選択	広告メディア論	②	
				選択	社会調査演習	②	
				選択	広告実践演習	②	
				必修	基礎演習	①	
				必修	卒業論文	①	
2	講師	Bradly Gordon Smith	29.3	必修	オール・コミュニケーションⅠ	①	H29.3.31付け他大学転出のため辞任（29）
				必修	オール・コミュニケーションⅡ	①	
				必修	オール・コミュニケーションⅢ	①	
				必修	オール・コミュニケーションⅣ	①	
				必修	ライティングⅡ	①	
				必修	ディベート	①	
				必修	プレゼンテーション	①	
				必修	インターナショナルセミナー	①	
				必修	アカデミック・ライティング	①	
				必修	ライティングⅠ	①	
3	教授	瀬端 孝夫	29.3	必修	教養セミナー	①	H29.3.31付け一身上の都合により退職（29）
				必修	長崎のしまに学ぶ	①	
				必修	しまのフィールドワーク	①	
				必修	国際関係論入門	①	
				必修	東アジア論	①	
				選択	地域研究（アメリカ）	①	
				必修	基礎演習	①	
				必修	専門演習	①	
				必修	卒業論文	①	
4	准教授	和田 一哉	30.3	必修	教養セミナー	①	H30.3.31付け他大学転出のため辞任（30）
				必修	長崎のしまに学ぶ	①	
				必修	しまのフィールドワーク	①	
				選択	国際経済学	①	
				必修	開発援助論	②	
				必修	基礎演習	①	
				必修	専門演習	①	
				必修	卒業論文	①	
5	講師	Neil Thomas Millington	30.3	必修	オール・コミュニケーションⅠ	①	H30.3.31付け他大学転出のため辞任（30）
				必修	オール・コミュニケーションⅡ	①	
				必修	オール・コミュニケーションⅢ	①	
				必修	オール・コミュニケーションⅣ	①	
				必修	ライティングⅡ	①	
				必修	ディベート	①	
				必修	プレゼンテーション	①	
				必修	インターナショナルセミナー	①	
				必修	アカデミック・ライティング	①	



6	講師	Shannon Mason	30.3	必修	オール・コミュニケーションⅠ	①	H30.3.31付け他大学転出のため辞任(30)		
				必修	オール・コミュニケーションⅡ	①			
				必修	オール・コミュニケーションⅢ	①			
				必修	オール・コミュニケーションⅣ	①			
				必修	ライティングⅡ	①			
				必修	ディベート	①			
				必修	プレゼンテーション	①			
				必修	インターナショナルセミナー	①			
				必修	アカデミック・ライティング	①			
7	教授	村上 雅通	31.3	必修	教養セミナー	①	H31.3.31付け一身上の都合により退職(31)		
				必修	長崎のしまに学ぶ	①			
				必修	しまのフィールドワーク	①			
				選択	国際情報論	①			
				選択	映像ジャーナリズム論	①			
				選択	時事問題研究	①			
				必修	キャリアインターンシップ	①			
				必修	基礎演習	①			
				必修	専門演習	①			
必修	卒業論文	①							
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
7	人	必修	57 科目	必修	56 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	5 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	66 科目	計	61 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
8	人	必修	58 科目	必修	57 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	5 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	67 科目	計	62 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{28} = 28.57 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
-	人	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
		選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目
		自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
		計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全ての科目において、新規採用、兼任講師、他の専任教員による分担等に対応しており、学生の履修等に影響はない。学生への周知については、学生便覧やシラバス等に掲載する形で行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項 について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	経営学部経営学科および地域 創造学部公共政策学科におい て、定年規程に定める退職年 齢を超える専任教員数の割合 が比較的高いことから、定年 規程の趣旨を踏まえた適切な 運用に努めるとともに、教員 組織編成の将来構想について 検討すること。	改善意見  定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用を 行う。専任教員が定年を迎える場合に は、教員組織編成を考慮しながら計画的 な採用を行っていく。(30)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (31年2月)	専任教員数が届出時の計画か ら減少しているにもかかわらず、補充の検討もされてい ない。教育の質の低下が危惧さ れるため、設置計画に示され ている専任教員数を確実に確 保すること。	是正  平成30年度設置計画履行状況等調査に おいて国際社会学部国際社会学科につい て、届出時の計画から4名の専任教員が 減少している。 うち、平成31年4月に2名を採用し た。 また、1名については本年度に下記専任 教授の令和2年4月1日付の採用を決定 した。 本田道明(60歳)、教授、担当科目「長 崎のしまに学ぶ」「しまのフィールド ワーク」 もう1名も専任教授として令和2年4月 1日付の採用予定として現在人選中。本 年12月までに決定する予定。 平成28年度の学部学科再編は認可申請 ではなく届出申請であったため、書面で はなく口頭にて全教員から就任承諾の手 続きを行っていたところ。今後は、 今回の指導を踏まえ、届出申請であつて も書面による就任承諾の手続きを行うこ ととします。 また、教員の就任辞退や辞任の原因につ いては、ほとんどの教員が「他大学への 転出」であります。 なお、教員の就任辞退や辞任についての 後任は全ての採用は済んでおり、いずれ の後任者も国際社会学科の3ポリシーを 十分に踏まえた採用を行っております。 (うち2名は2020年4月に採用決定 済)(R1)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (32年2月)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<国際社会学部 国際社会学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

教育開発センターが主体となり企画・運営

##### b 委員会の開催状況

今後開催予定(R1.5)

##### c 委員会の審議事項等

#### (1) 教育内容の充実及び教育方法の改善に関すること

ア 授業方法等の改善に関すること

イ 全学的なFDの企画、実施に関すること

ウ 教育の評価方法の研究・企画及び実施に関すること

エ 現代の大学教育の重要課題に関する情報の収集整理に関すること

#### (2) 教育に関する研究及び企画に関すること

#### (3) その他教育内容の充実に関すること

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

授業方法の改善等の事業計画の策定

全学的なFD研修会の実施

授業評価アンケートの実施

FDに関する調査、資料等収集 など

##### b 実施方法

・全学的なFD研修会および学部・学科・研究科単位でのFD研修会の実施

・前期・後期での授業評価アンケートの実施および集約を行い、その結果に基づき各教員より改善状況を点検報告書として報告させている。なお、授業評価結果は、集計結果をホームページで公表するとともに、学内で科目毎の評価結果を公表している。公表した各教員の参考になる取組み事例を活用した授業について、教育開発センターで集約し、学内システムにアップロードしており、組織的な授業改善に役立てている。

・学習成果測定のための情報収集や研修会への参加により、教育開発センターを中心とした指標の開発を進める。

##### c 開催状況(教員の参加状況含む)

今後開催予定

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業評価アンケート結果の分析や各教員の改善事項を踏まえた「点検報告書」の作成 予定

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

主に7月、1月に実施予定（地域創造学部のみ一部クォーター科目を導入していることから、5月にも実施予定）

b 教員や学生への公開状況，方法等

集計結果をHPで公表するとともに、学内において科目毎の評価結果を公開する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済社会のボーダレス化が進む中で多様性に配慮しながらも、現代社会において経済合理的な経営活動を営むことを可能とし、かつ、正しい意思決定ができる人材を育成し、地域にとって有為な人材を輩出することが学科設置の趣旨である。

そのため現代の企業経営及び組織の管理に必要な経営学の知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で企業やその他の組織の課題に主体的に対応できる人材の育成に取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和3年5月 公表予定

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（令和3年5月）

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和2年度に認証評価機関の評価を受けるべく、自己点検・評価を行う予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 令和 元年 5月 30日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。